

一言メモ

真壁は江戸時代から明治・大正にかけて、この地方の文化・産業の中心地として栄え、隆盛を誇った商家の人たちが次々と蔵や門などを建てました。市街地には、300余棟の見世蔵・土蔵・門などがあります。平成22年6月29日には、この真壁地区が国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。全国で87地区目、関東地方では4地区目、県内では初となります。



真壁城跡 1172年築城
山裾の微高地を利用した平城



五所駒龍神社 1014年創建
真壁氏の氏神



谷口家 江戸時代初期～
絞油、醤油、製糸



橋本旅館 江戸時代末期～
医業、旅館



川島書店 江戸時代末期～
生薬店、荒物店、書店



旧真壁郵便局 昭和2年～
現在は街並み案内所



潮田家 江戸時代末期～
呉服・荒物・雑貨商



西岡本店 1782年～
日本酒「花の井」蔵元



猪瀬家薬医門 江戸時代末期～

